

## アジアの旧正月に320人



餅つきに参加者は大喜び



民族衣装で歌う子どもたち

アジア圏の旧正月を祝う「新春を祝う会 in NARITA」が2月5日、中央公民館で開催されました。会場では、成田市国際交流協会の会員やボランティアが手作りで用意した各国の正月料理が振る舞われたほか、餅つきや台湾茶道の示范点をはじめ、各国のさまざまなアトラクションが行われ、320人の参加者で埋まった会場は大いに盛り上がりました。

## 松本幸四郎さんが宗吾霊堂参詣

## 芝居の成功を祈願して

江戸時代初期、4代将軍徳川家綱の時代に、打ち続く凶作と過酷な重税に苦しむ農民たちを救うため、当時禁じられていた將軍への直訴を行い処刑された郷土の義民、木内惣五郎(佐倉宗吾)。その歌舞伎公演「佐倉義民伝」の上演に当たり、宗吾役の松本幸四郎さんら関係者が2月16日、宗吾を祭る宗吾霊堂に参詣しました。幸四郎さんが宗吾を演じるのは、昭和60年、平成20年に続き3回目となります。降りしきる雪の中で宗吾の墓にお参りし、本堂で成功祈願後、記念植樹を行いました。



御一代記館前での見鷲梅の植樹

## 消費生活展

## 暮らし改善のきっかけに



「意外に素敵」と好評のエコバッグ

暮らしに役立つ情報に触れ、日常生活を見直すきっかけにしてもらおうと2月25日・26日、ユアエルム成田店で「消費生活展」が行われました。会場には、不要になった傘を利用したエコバッグの紹介や住宅用火災警報器設置の重要性を呼び掛ける展示など20のブースが並び、各団体が工夫を凝らした催しを実施。ほかにも、ぬり絵や風船のプレゼントなど、子どもも楽しめるイベントが盛りだくさんで、会場は終日多くの家族連れでにぎわっていました。

## 防災講演会

## 助けられる人から、助ける人に



約150人の聴衆が集まった会場



震災の状況を熱く語る山村さん

「東日本大震災に学ぶ～有事に備えた自主防災活動と近助の精神～」をテーマに2月25日、保健福祉館で「防災講演会」が開催されました。講師の山村武彦さん(防災システム研究所所長)が語る「行政が助ける人、住民は助けられる人の立ち位置を変える。動ける時は助け、応用性を養い、助けられる人から、助ける人になれる」との話しに、参加者は静かに耳を傾けていました。

## おひなさまケーキを作ろう

## 簡単で、かわいい!



クリームはたっぷり入れちゃおう

桃の節句にちなんだお菓子作りを楽しんでもらおうと2月25日、子ども館で「おひなさまケーキを作ろう」が開催されました。ケーキの材料は、薄く切った市販のロールケーキと生クリーム。材料を茶わんに入れ、冷蔵庫で冷やして成型し、色紙で装飾を施せば、かわいらしい「おひなさま」のできあがり。参加者の一人は、「簡単に作ることができて、とてもかわいいので、ひな祭りの日にも家族と作って飾りたい」と話していました。



かわいいでしょ?

## 成田味比べ煮込み祭り

## 絶品!人気メニューを市場で

成田市場で第4土曜日に開催されている「わくわく感謝デー」で2月25日、市内の飲食店で販売されている煮込み料理を楽しんでもらおうと、「成田味比べ煮込み祭り」が行われました。業務用の大きな鍋で作られたのは、市場で仕入れた食材を使ったモツ煮込み・ナンコツチャーシュー・牛すじ煮込みの3種類で、価格は1杯300円。あいにくの雨にもかかわらず、多くの人が会場を訪れ、「肉に味が染み込んでいておいしい。ご飯と一緒に食べてみたい」と、各店自慢の味に舌鼓を打っていました。



おすすめの味をどうぞ